

平成 27 年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 最優秀賞
(国土交通大臣賞)

「土砂災害から命を守ろう」

愛媛県 愛南町立緑小学校 4年 なかすか ちひろ 中須賀 千陽

わたしは、2年生の時、緑小学校に転校してきました。緑小学校には「ぼうさいグリーン隊」があり、全員が隊員だったので、びっくりしました。「ぼうさいグリーン隊」では、いろいろな災害について学習し、防災、げん災の力を身に付けようとしています。わたしも、もちろん「ぼうさいグリーン隊」の隊員になりました。わたしが、最初に取り組んだのは、防災キャラクター作りです。みんなで考えて「まもりみるちゃん」という、防災グッズをたくさん身に付けたかわいいキャラクターができました。「ぼうさいグリーン隊」集会という集会も毎月あります。今年、高学年が作った防災マップでできんな場所やひなん経路を確かめたり、身近な物のできる応急手当を練習したりしました。

土砂災害については、砂防学習会でたくさんを知ることができました。まず、土砂災害には、土石流とがけくずれ、地すべりがあることを初めて知りました。どれも、おそろしい災害です。わたしの家の近くにも山があるので、大じょうぶかなと心配になりました。友達の家のは、すぐがけになっています。でも、コンクリートのかべとがんじょうなネットで、家をはげくずれから守れるようにしてあります。友達のおばあちゃんに、家のうらのがけがくずれた時のことを話してもらいました。がけくずれが何度かあった中で、ゴゴゴというすごい音がしてくずれた時のことはわすれられないそうです。おばあちゃんは急いで2階ににげ、大きなひ害はなかったけれど、とてもこわかったと話していました。その後、家のうらは急けいしゃ地ほうかいきけんか所に指定され、コンクリートとネットでがけくずれを防ぐ対さくがとられ、やっと安心してくらすようになったそうです。同じ対さくがされている所が緑地いきにはたくさんあります。対さくがしてあっても、絶対安全ではないと思うので、土砂災害について学習したことをしっかり覚えておかななくては、と思いました。

特に覚えておこうと思っているのは、土砂災害の前ぶれです。土石流が起こる前には、変なおいがしたり、雨がふり続けているのに、川の水がへったりすることがあるそうです。地すべりが起こる前には、池の水がにごったり、地面にひびわれができたりするそうです。がけくずれが起こる前には、小石がパラパラ落ちてきたり、しゃ面にひびわれができたりするそうです。これらの様子に早く気付けるよう、ふだんの様子を知っておくことや、防災グッズを準備しておくことが大切なことも教えてもらいました。

わたしの家では、砂防学習会の後、家族で話し合っ、防災グッズを準備しました。水、アルファ米、かい中電灯、きゅう急箱などをふくろに入れて、2階のしん室に置いています。台風や大雨の時は、2階でねることも決めました。ひなん場所は、緑小学校です。わたしのお母さんは、かんご師です。だから、夜きんの日もあります。お母さんが夜きんの日に台風が来てけい報が出ると、お母さんは大じょうぶかなと心配になります。家の方はおばあちゃんが来てくれて、雨戸を閉めたり、いっしょに防災グッズを確かめたりしてくれるので、あまりこわくありません。

このごろ、台風や大雨が多いように思います。大雨の後は土砂災害が起こりやすくなるので、テレビのニュースや天気予報を毎日見るようになりました。土砂災害はおそろしいですが、地震よりは予想しやすく、前もって備えることができます。これからも、「ぼうさいグリーン隊」として土砂災害について調べたり、土砂災害から命を守るための方法を話し合ったりしていきます。そして、みんなで協力して土砂災害のひ害を小さくし、みんなの命を守れるようにしたいです。